NTT DATA

intra-mart The Power for Enterprise Web Solution

intra-mart WebPlatform/AppFramework
Ver.7.0

TableMaintenance
管理者 操作ガイド

2008/07/07 初版

❖ 変更履歴

変更年月日	変更内容
2008/07/07	初版

Contents

第1章　TableMaintenance　1

1.1　TableMaintenance 概要　2

1.2　テーブルを管理する　3

1.2.1 テーブルを追加する　3

1.2.2 一般ユーザにテーブルの編集権限を与える　8

1.2.3 テーブルの設定を変更する　8

1.2.4 テーブルをメンテナンス対象から削除する　10

1.3　データを編集する　12

1.3.1 テーブルにデータを追加する　12

1.3.2 テーブルのデータを編集する　14

1.3.3 テーブルのデータを削除する　18

intra-mart WebPlatform/AppFramework

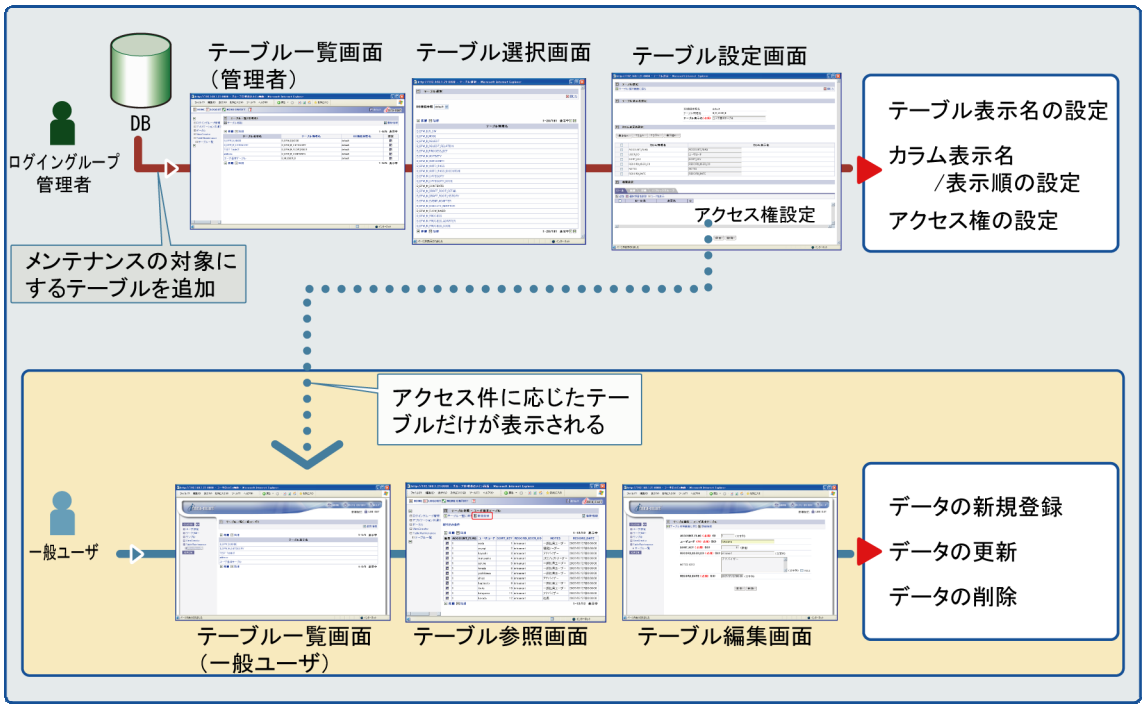
第1章 TableMaintenance

1.1 TableMaintenance 概要

TableMaintenanceでは、データベース上の既存のテーブルに対してレコードの新規登録・更新・削除を行うことができます。データベースを使用したアプリケーションを作成した際に必要になることの多いマスタメンテナンスの機能を簡単な設定操作のみで、簡易的に実現することができます。ログイングループ管理者が、メンテナンスを行うテーブルに対してアクセス権の設定を行うことで一般ユーザが参照できるテーブルを制限することもできます。TableMaintenanceで扱えるデータベースは、ログイングループデータベースとシステムデータベースです。

TableMaintenanceの操作は、以下の2つに分類することができます。

テーブルの管理	データベース上のテーブルをメンテナンスの対象とするテーブルとして追加します。また、アクセス権を設定して、そのテーブルを操作できるユーザを限定することもできます。この操作は、「ログイングループ管理者」が行います。
データの編集	管理者からアクセス権を与えられたユーザは、テーブルのデータの追加・更新・削除が行えるようになります。



＜TableMaintenanceの概念＞

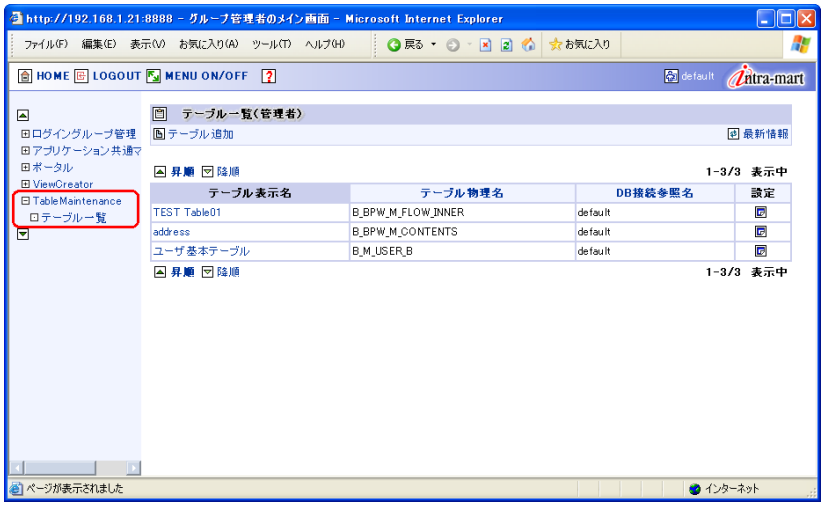
1.2 テーブルを管理する

データベースのテーブルをTableMaintenanceでデータの追加・更新・削除が行えるようにします。

1.2.1 テーブルを追加する

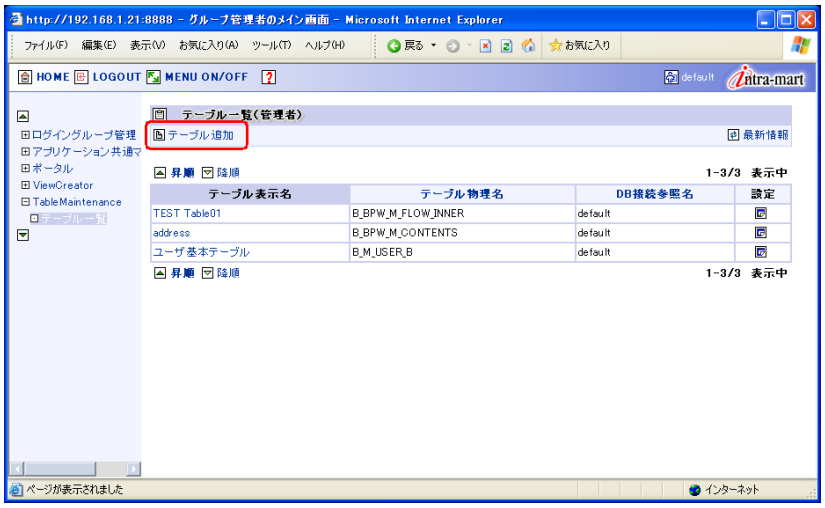
データベース上の既存のテーブルを、メンテナンス対象のテーブルとして追加します（テーブルの追加）。

1 [TableMaintenance]メニューから[テーブル一覧]をクリックします。
[テーブル一覧（管理者用）] 画面が表示されます。



<[テーブル一覧（管理者用）]画面>

2 [テーブル一覧（管理者用）]画面で、[テーブル追加]をクリックします。



<テーブル追加をクリックする>

別ウインドウで、［テーブル選択］画面が表示されます。

<[テーブル選択]画面>

3 [DB接続参照]でデータベースの接続先を選択します。

選択したデータベースのテーブルの一覧が表示されます。

4 [テーブル物理名]をクリックします。

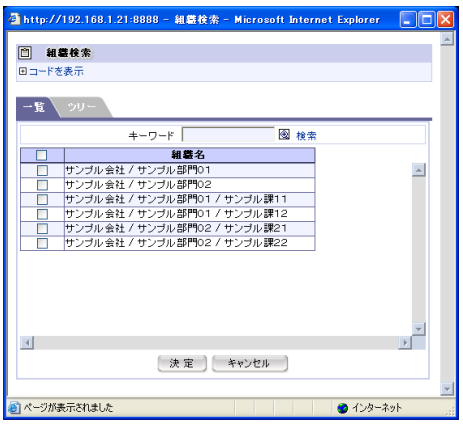
選択したテーブルの設定画面が表示されます。

<[テーブル設定]画面>

テーブル選択画面に戻る	[テーブル選択]画面に戻ります。
テーブル表示名設定	テーブル名関連の設定をします。
DB接続参照名	選択したテーブルが属するDB接続参照名が表示されます。
テーブル物理名	選択したテーブルの、データベース上の名称が表示されます。
テーブル表示名	テーブルにTableMaintenance機能上での名称を設定します(分かりやすい日本語の名称等を設定します)。デフォルトではデータベース上のテーブル名が表示されます。
カラム表示名設定	テーブルを構成するカラムのTableMaintenance機能上での名称やカラムの順番を入れ替えるなどの設定を行います。設定されたカラムの順番は、「テーブル参照画面」での列の表示順と「テーブル編集画面」での項目の表示順に反映されます。
[最上位へ]ボタン	カラム先頭のチェックボックスをクリックしてからこのボタンをクリックすると、チェックしたカラムの表示順を最上位にすることができます。
[1つ上へ]ボタン	カラム先頭のチェックボックスをクリックしてからこのボタンをクリックすると、チェックしたカラムの表示順を1つ上にすることができます。
[1つ下へ]ボタン	カラム先頭のチェックボックスをクリックしてからこのボタンをクリックすると、チェックしたカラムの表示順を1つ下ににすることができます。
[最下位へ]ボタン	カラム先頭のチェックボックスをクリックしてからこのボタンをクリックすると、チェックしたカラムの表示順を最下位にすることができます。
(チェックボックス)	表示順を変更する際に、カラムの選択に用います。複数のカラムを選択することもできます。
カラム物理名	クエリの物理名が表示されます。
カラム表示名	カラム(フィールド)にTableMaintenance機能上での名称を設定します(分かりやすい日本語の名称等を設定します)。デフォルトではデータベース上のフィールド名が表示されます。
権限設定	テーブルへのアクセス権を設定します。アクセス権を持つユーザはテーブルの参照と、データの新規登録、更新及び、削除ができるようになります。アクセス権が設定されなかった場合は、全てのユーザがアクセスできます。 アクセス権の設定は、「ロール」、「組織」、「役職」、「パブリックグループ」などのタブを選択して、[追加]アイコンをクリックして、選択入力します。以下に、タブごとに紹介します。
[ロール]タブ	このテーブルに設定するアクセス権限としてのロールを選択します。[追加]ボタンをクリックすると、次のようなウインドウが表示されて登録済みのロールが選択できます。このウインドウ上では、各ロールのコードを表示することもできます。

[組織]タブ

このテーブルに設定するアクセス権限としての組織を選択します。[追加]ボタンをクリックすると、次のようなウインドウが表示されて組織が選択できます。なお、組織の表示方法には一覧とツリーが用意されています。このウインドウ上では、会社や組織のコードを表示することもできます。

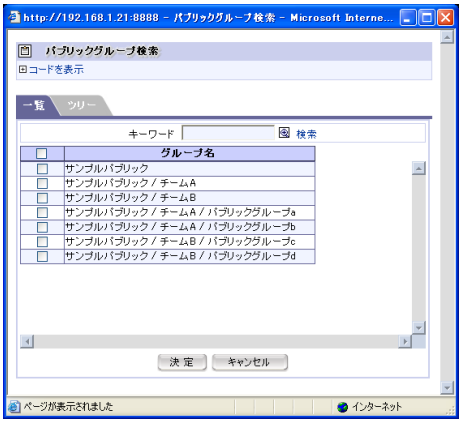


[役職]タブ

このテーブルに設定するアクセス権限としての役職を選択します。[追加]ボタンをクリックすると次のようなウインドウが表示されて役職が選択できます。このウインドウ上では、会社や役職のコードを表示することもできます。

[パブリックグループ]タブ

このテーブルに設定するアクセス権限としてのパブリックグループを選択します。[追加]ボタンをクリックすると次のようなウインドウが表示されてパブリックグループが選択できます。なお、パブリックグループの表示方法には、一覧とツリーが用意されています。このウインドウ上では、パブリックグループのコードを表示することもできます。



追加アイコン

別ウインドウで、権限に設定するためのロール、組織、役職、パブリックグループなどの検索画面が表示されます。

選択項目を削除

チェックした項目を削除します。

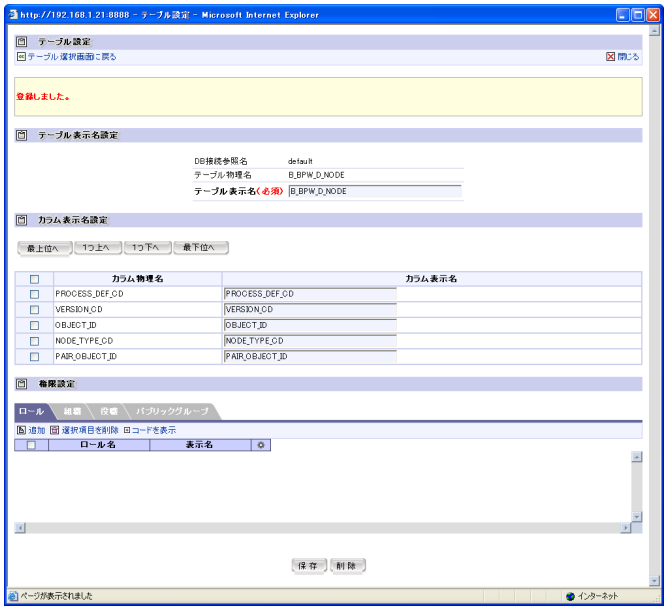
/ コードを表示

表示されている項目のコードの表示/非表示を切り替えます。

5 テーブル設定を入力後、画面下部の[保存]ボタンをクリックします。

[保存]ボタン	テーブルの設定情報を保存します。

保存後、［テーブル設定］画面の編集画面表示されます。



<[テーブル設定]画面の編集画面>

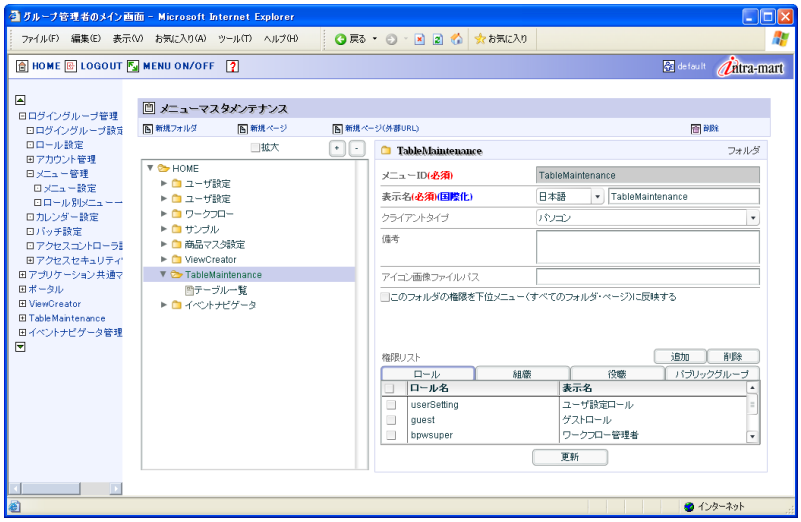
6 他のテーブルを追加するには、[テーブル選択画面に戻る]をクリックします。テーブル設定を終了するには、[閉じる]をクリックします。

1.2.2 一般ユーザにテーブルの編集権限を与える

一般ユーザがテーブルの編集をできるようにするには、以下の手順でメニュー項目のアクセス権を設定する必要があります。

1 メニューメンテナンス画面で、フォルダ及びメニュー（TableMaintenance, TableMaintenance/テーブル一覧）に権限を設定します。
一般ユーザのメニューに、以下の項目が追加されます

```
TableMaintenance
TableMaintenance/テーブル一覧
```

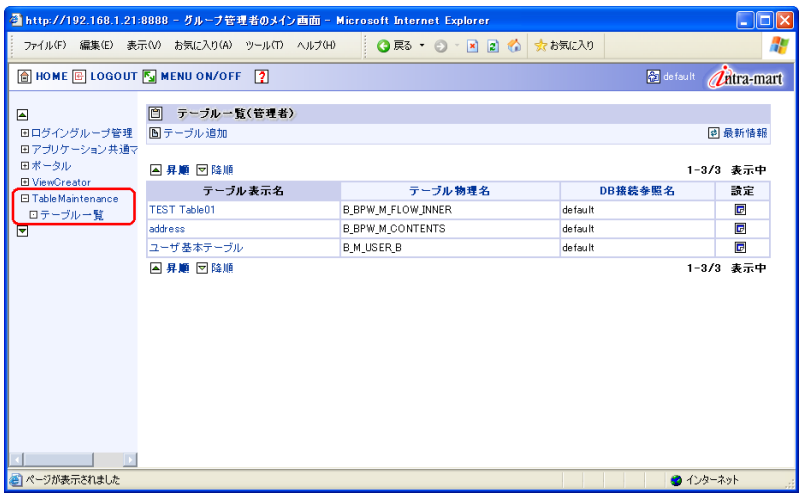


<メニューメンテナンス画面での設定例>

1.2.3 テーブルの設定を変更する

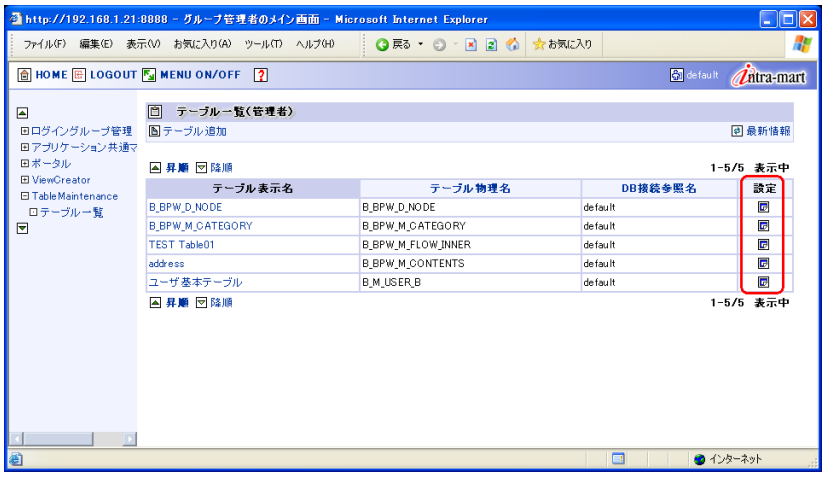
TableMaintenanceのテーブル一覧に登録されているテーブルの設定は、以下のような手順で変更することができます。

1 [TableMaintenance]メニューから[テーブル一覧]をクリックします。
[テーブル一覧（管理者用）] 画面が表示されます。



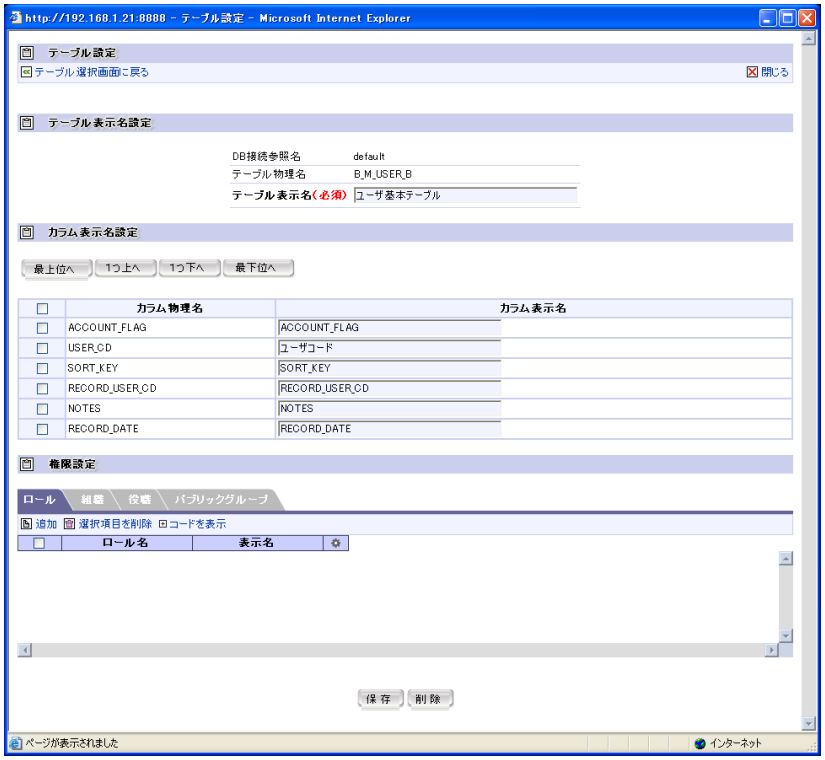
<[テーブル一覧(管理者用)]画面>

2 [テーブル一覧(管理者用)]画面で、設定欄の アイコンをクリックします。



<設定アイコンをクリックする>

別ウインドウで、［テーブル設定］画面が表示されます。



<[テーブル設定]画面の編集画面>

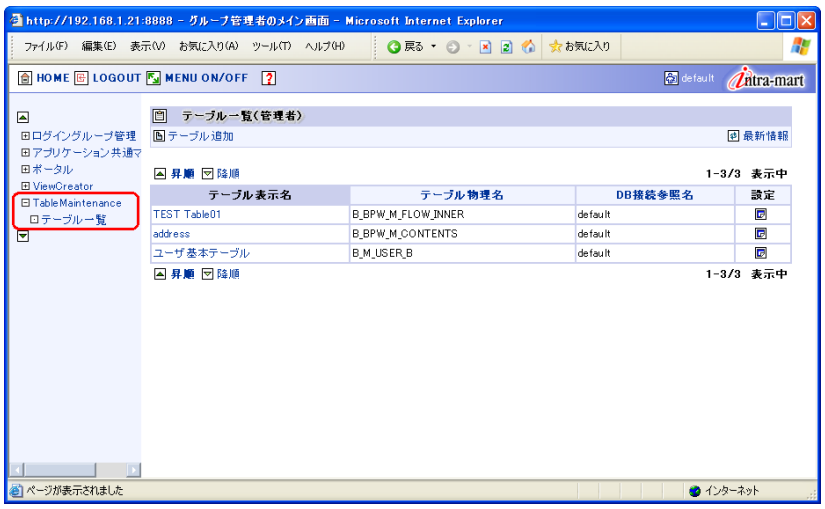
3 設定を変更後、[保存] ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

1.2.4 テーブルをメンテナンス対象から削除する

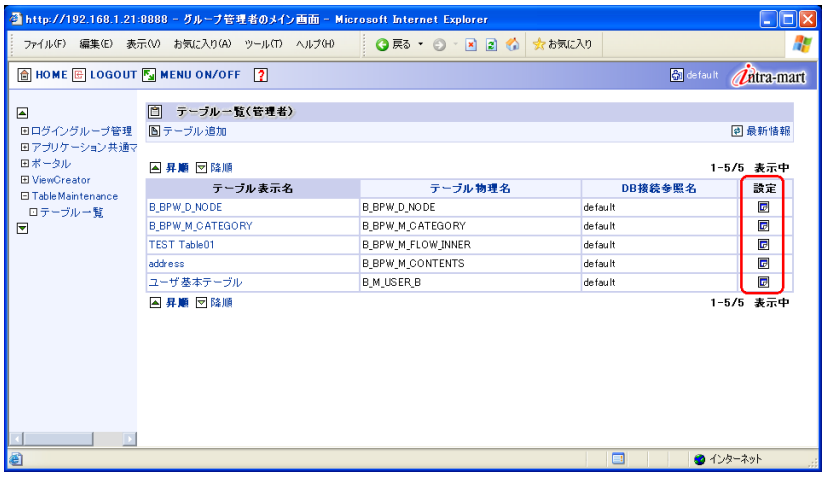
追加したテーブルを、メンテナンス対象から削除するには、以下のように操作します。

1 [TableMaintenance]メニューから[テーブル一覧]をクリックします。
[テーブル一覧（管理者用）] 画面が表示されます。



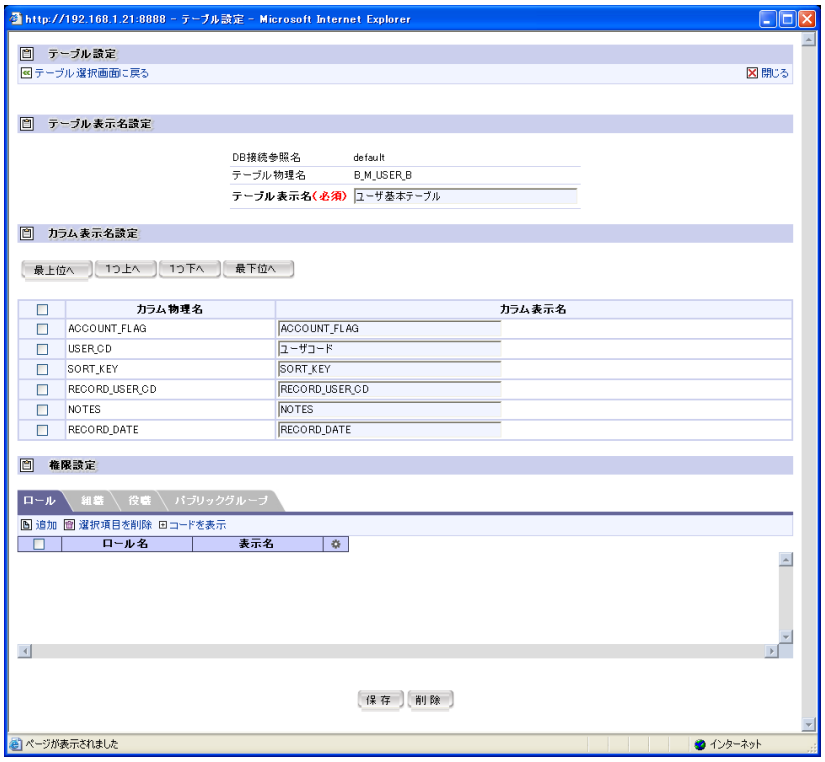
<[テーブル一覧(管理者用)]画面>

2 [テーブル一覧(管理者用)]画面で、設定欄の アイコンをクリックします。



<設定アイコンをクリックする>

別ウインドウで、［テーブル設定］画面が表示されます。



<[テーブル設定]画面の編集画面>

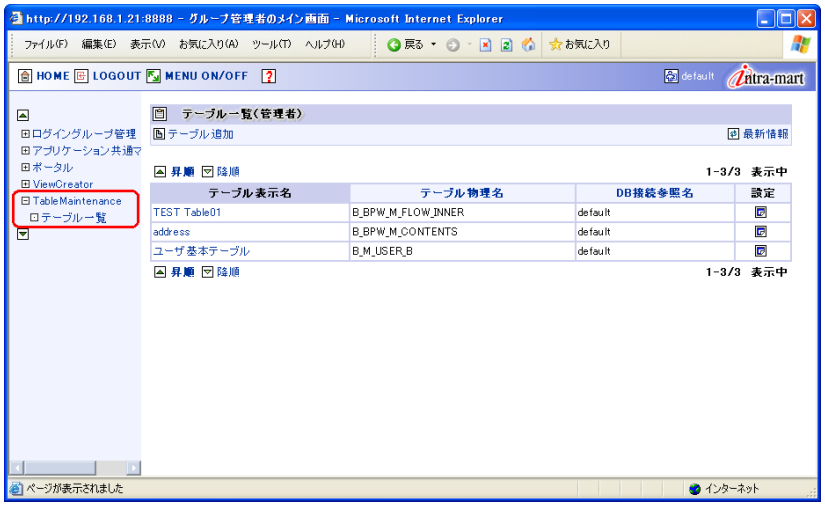
3 表示された[テーブル設定]画面で、[削除］ボタンをクリックします。
選択されていたテーブルが一覧から削除されます。

1.3 データを編集する

管理者がテーブル一覧に登録し、アクセス権を与えられたテーブルに対して、管理者および一般ユーザは、データの追加・更新・削除を行うことができます。

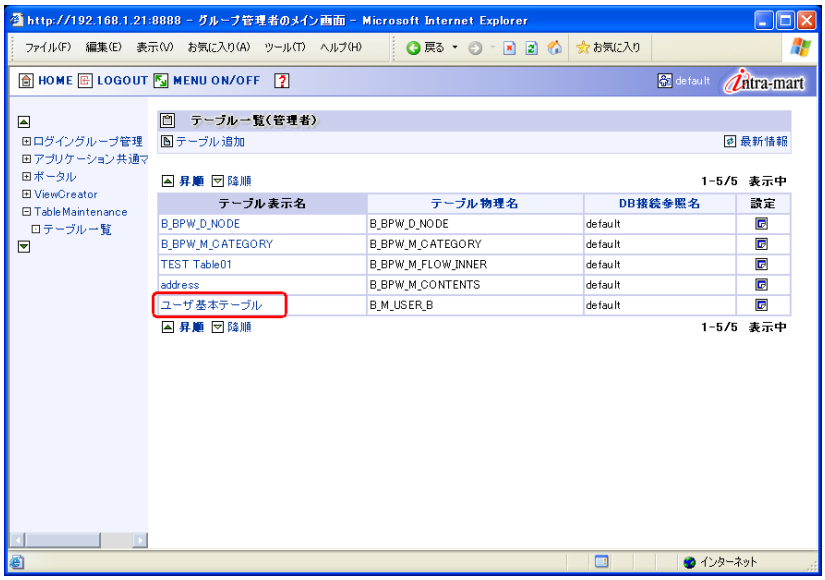
1.3.1 テーブルにデータを追加する

1 [TableMaintenance]メニューから[テーブル一覧]をクリックします。
[テーブル一覧（管理者用）] 画面が表示されます。



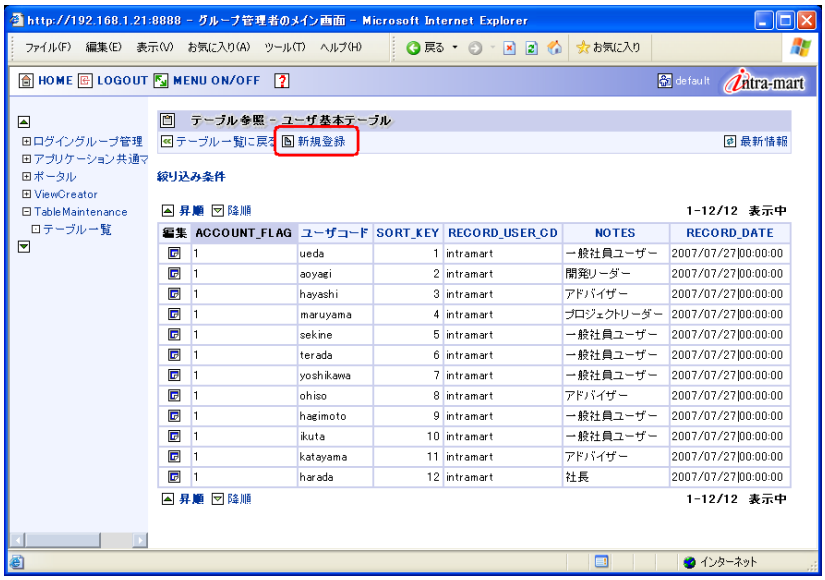
<[テーブル一覧(管理者用)]画面>

2 [テーブル一覧(管理者用)]画面で、テーブル表示名をクリックします。



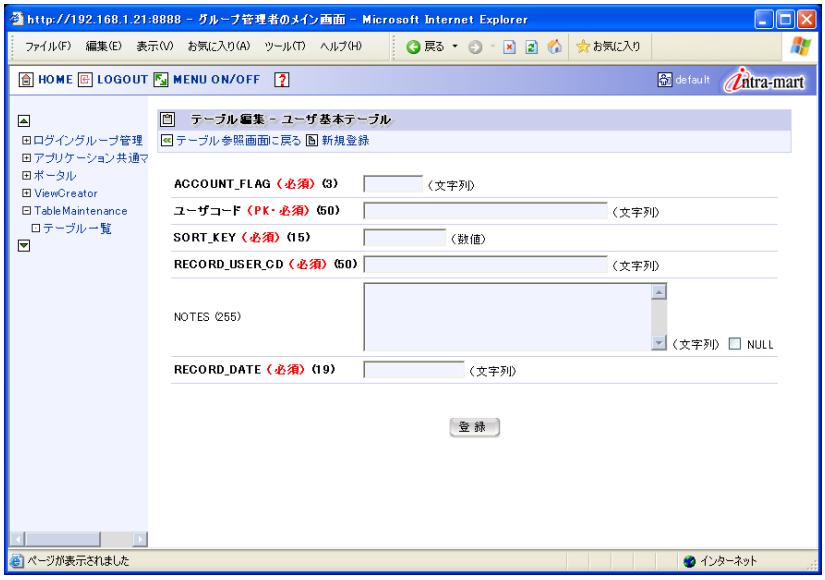
<テーブル表示名をクリックする>

［テーブル参照］画面が表示されます。



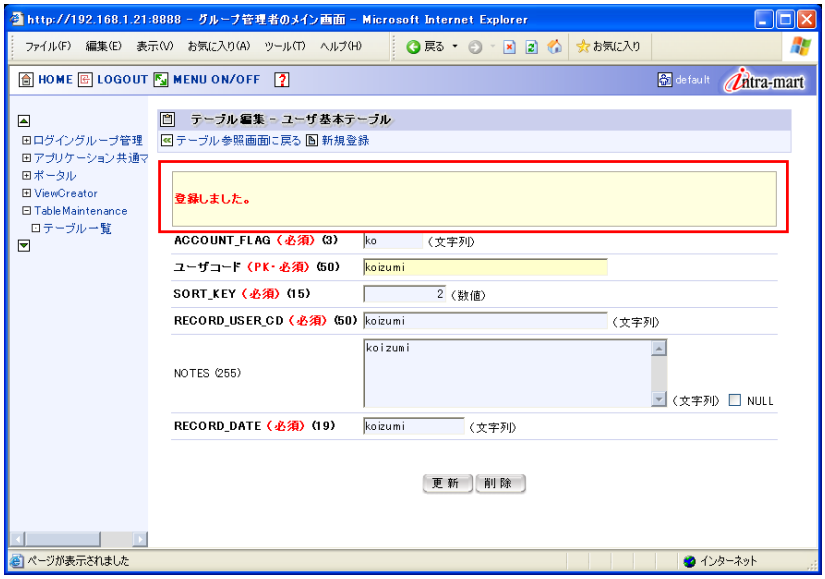
<[テーブル参照]画面>

3 ［テーブル参照］画面で、［新規登録］アイコンをクリックします。
［テーブル編集］画面が表示されます。



<[テーブル編集]画面>

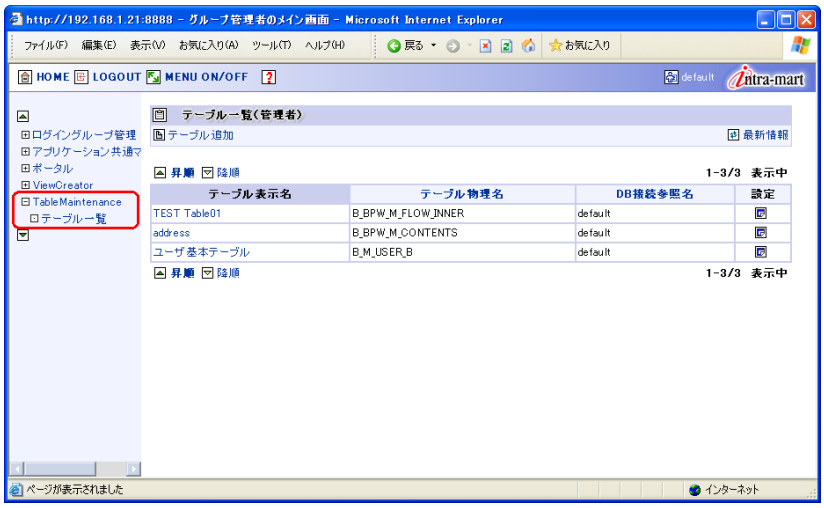
4 各カラムに入力したら、[登録]ボタンをクリックします。
画面上部に「登録しました」と表示されます。



<[テーブル編集]画面>

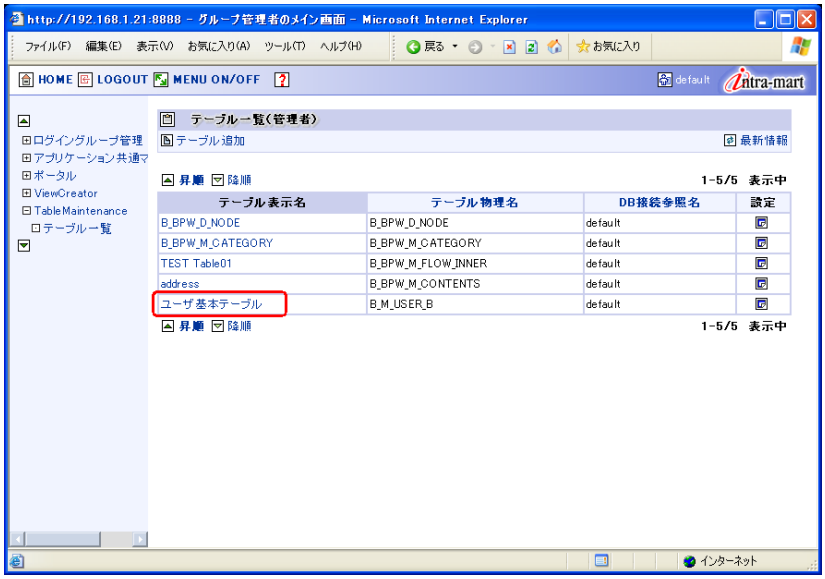
1.3.2 テーブルのデータを編集する

1 [TableMaintenance]メニューから[テーブル一覧]をクリックします。
[テーブル一覧（管理者用）] 画面が表示されます。



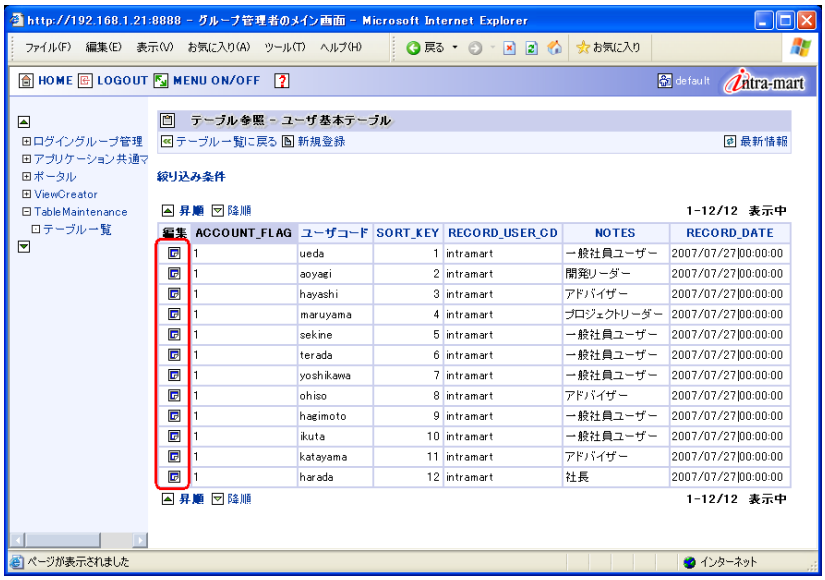
<[テーブル一覧(管理者用)]画面>

2 [テーブル一覧(管理者用)]画面で、テーブル表示名をクリックします。



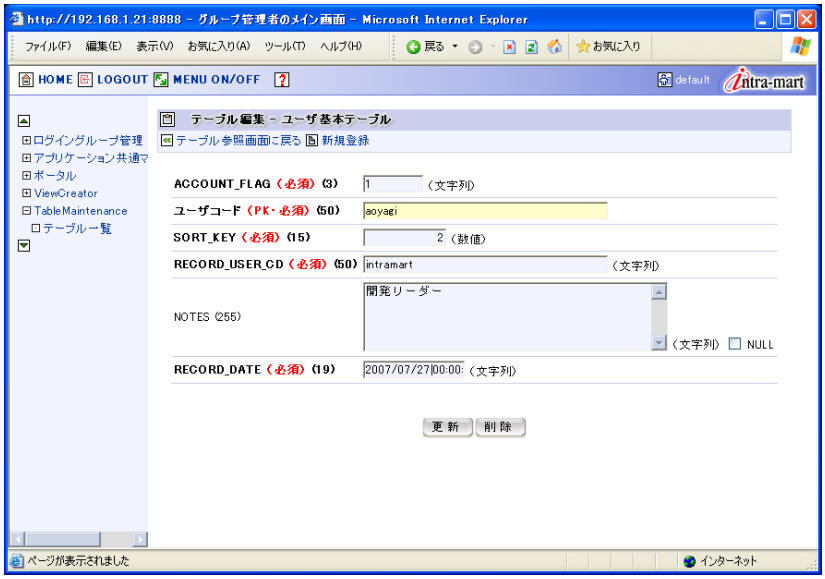
<テーブル表示名をクリックする>

[テーブル参照] 画面が表示されます。



<[テーブル参照]画面>

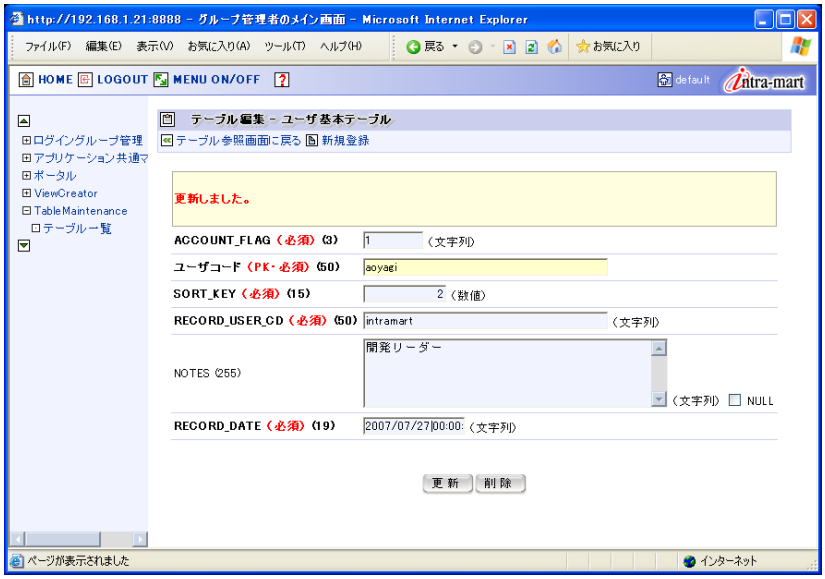
3 ［テーブル参照］画面で、データを編集したレコードの ［編集］アイコンをクリックします。
［テーブル編集］ 画面が表示されます。



<[テーブル編集]画面>

● 画面上に「PK」と表示されている項目は「主キー」のフィールドです。編集することはできません。

4 各カラムの内容を編集したら、［更新］ボタンをクリックします。
画面上部に「更新しました」と表示されます。



<[テーブル編集]画面>

Column

編集可能なフィールドの型

テーブルメンテナンス機能では、データを文字列型、数値型、日付型の３種類で扱います。以下に、データベース上のフィールドの型との対応関係を示します。
また、バイナリのデータを編集することはできません。

	文字列型	数値型	日付型
Oracle	CHAR, VARCHAR2	NUMBER	DATE, TIMESTAMP
SQLServer	char, varchar	bigint, int, smallint, tinyint, numeric, decimal	datetime
DB2	CHAR, VARCHAR	SMALLINT, INTEGER, BIGINT, DECIMAL, FLOAT, REAL, DOUBLE	DATE, TIMESTAMP
PostgreSQL	char, varchar	numeric	date, timestamp

※timestamp型を扱う場合は、conf/imart.xmlで以下の設定をtrueにする必要があります。
intra-mart/platform/service/application/database/data/timestamp-is-date

各種設定の変更

conf/parameter.xmlで、以下のような設定を行うことができます。

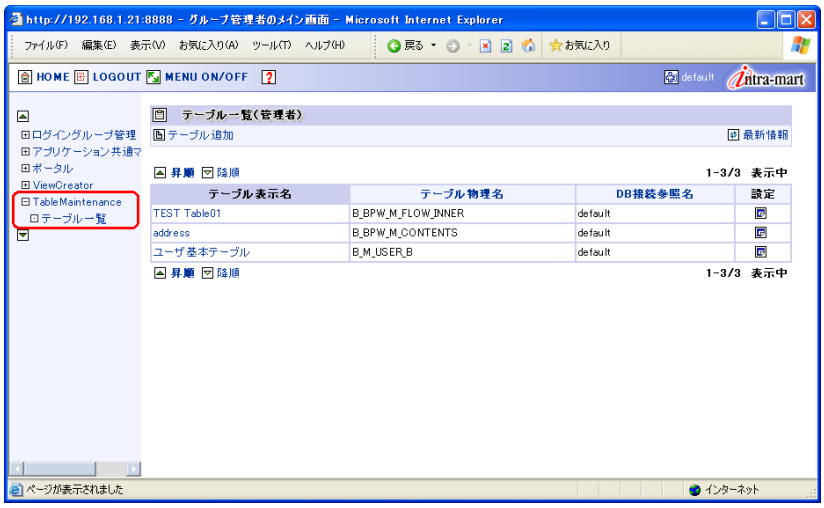
tm.list.records_per_page
テーブル選択画面のテーブル一覧と、テーブル参照画面のレコード一覧で1ページに表示する行数を設定します。

tm.column.maxlength
ここで設定された数値を基準に、テーブル編集画面で文字列型のカラムの表示形式を決定します。
設定された数値よりサイズが小さいカラムはテキストフィールドで、大きい場合はテキストエリアで表示されます。

tm.date.format
テーブル参照画面で日付型のカラムの表示形式を指定します。
※但しテーブル編集画面での入力フォーマットは「yyyy/MM/dd HH:mm:ss」で固定です。

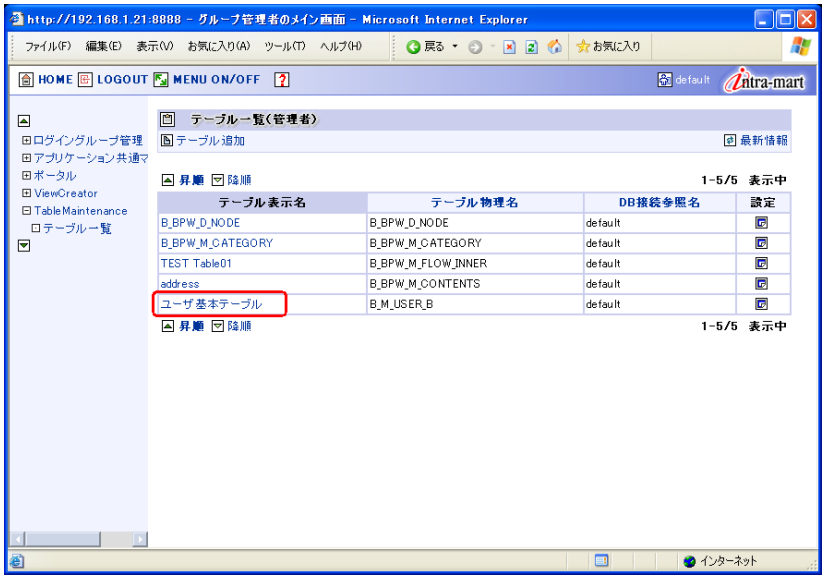
1.3.3 テーブルのデータを削除する

1 [TableMaintenance]メニューから[テーブル一覧]をクリックします。
[テーブル一覧（管理者用）] 画面が表示されます。



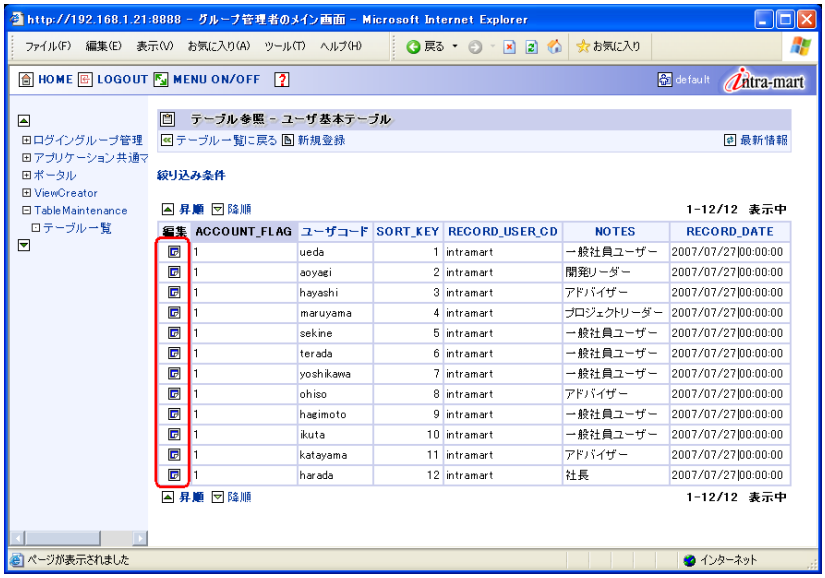
<[テーブル一覧(管理者用)]画面>

2 [テーブル一覧(管理者用)]画面で、テーブル表示名をクリックします。



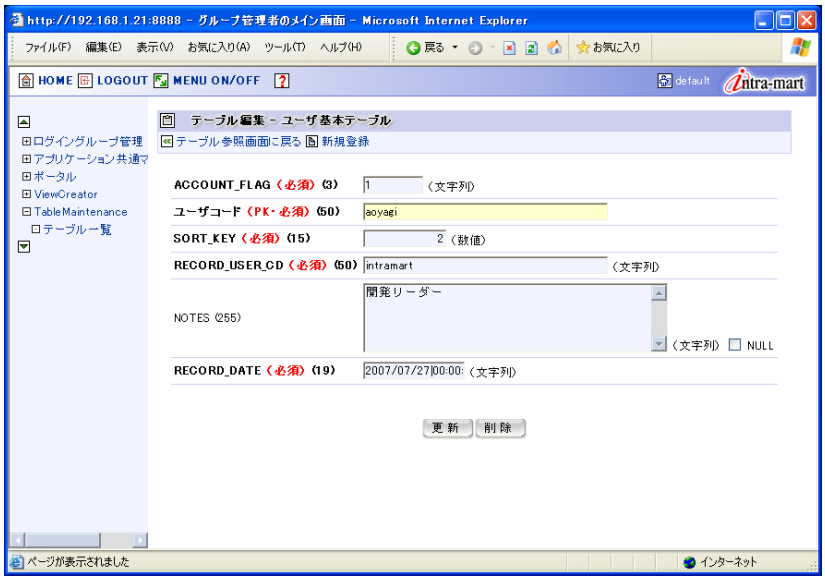
<テーブル表示名をクリックする>

［テーブル参照］画面が表示されます。



<［テーブル参照］画面>

3 ［テーブル参照］画面で、データを編集したレコードの ［編集］アイコンをクリックします。
［テーブル編集］画面が表示されます。



<［テーブル編集］画面>

4 内容を確認後、［削除］ボタンをクリックします。
データが削除されます。

T

TableMaintenance.....2

い

一般ユーザにテーブルの編集権限を与える.....8

て

テーブルにデータを追加する 13
テーブルの設定を変更する.....8
テーブルのデータを削除する 19
テーブルのデータを編集する 15
テーブルを追加する.....3
テーブルをメンテナンス対象から削除する .. 11

intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.0

2008/07/07 初版

TableMaintenance 管理者 操作ガイド

株式会社 NTT データ イントラマート
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー本館 3 階
TEL(03)5549-2821 FAX(03)5549-2816
E-mail : info@intra-mart.jp
ホームページ : http://www.intra-mart.jp
Copyright 2000-2008 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

※本マニュアルに記載されている社名および商品名は、一般に各社の商標および登録商標です。